

著者プロフィール



福地 成

東北医科薬科大学病院精神科病院准教授

2001年、弘前大学医学部卒業。青森県や北海道で小児科医として勤務し、乳幼児健診や発達障害の臨床に従事。精神科医へ転向し、精神科救急や地域精神保健に従事。2011年12月より東日本大震災の復興支援に特化した「みやぎ心のケアセンター」に勤務し、被災地の訪問支援、精神保健の普及啓発活動などを実施。2021年より現職。

専門領域：児童精神医学、災害精神保健、公衆衛生学



中村 安秀

公益社団法人日本 WHO 協会理事長/大阪大学名誉教授

1977年、東京大学医学部卒業。JICA 専門家（インドネシア）、UNHCR（アフガニスタン難民医療）などを経験。東京大学小児科講師、ハーバード大学公衆衛生大学院研究員、大阪大学大学院人間科学研究科教授などを経て、2021年より現職。

母子手帳を世界に広めた功績で第43回医療功労賞を受賞。

専門領域：国際保健医療学、国際母子保健学

岬 美穂

半蔵門のびすこどもクリニック院長

大阪医科大学卒業。大阪赤十字病院小児科、東京都立小児総合医療センター救命救急科を経て、2013年より厚生労働省 DMAT 事務局。2019年より現職。

専門領域：小児救急、災害医療

海野 信也

北里大学名誉教授/JCHO 相模野病院周産期母子医療センター顧問

1982年、東京大学医学部卒業。同大学産婦人科入局。1994～1996年、コーネル大学留学。2000年、長野県立こども病院産科部長。2004年、北里大学医学部産婦人科主任教授。2012～2018年、北里大学病院長。2014～2016年、日本周産期・新生児医学会理事長。2019年、神奈川県災害時小児周産期リエゾン。2022年、北里大学定年。

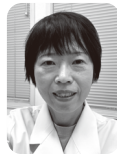
専門領域：胎児生理学、周産期救急医療、無痛分娩、小児周産期領域の災害対策



赤坂 美幸

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 精神保健・心理社会的支援エキスパート

英国ロンドン大学キングスカレッジ大学院 Psychology and Neuroscience of Mental Health 修了。2011年よりセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンのスタッフとして国内の緊急支援に従事。2022年にウクライナ危機対応、2023年にトルコ・シリア大地震の支援活動に従事。保育士、米国チャイルドライフスペシャリスト。



齋藤 茂子

医療法人修心会さいとうクリニック院長

1988年、信州大学医学部卒業。同年、自治医科大学小児科入局。1999年、自治医科大学小児科講師。2000年より現職。

専門領域：小児科

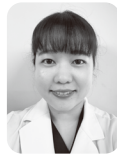


吉田 穂波

神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科教授

1998年、三重大学医学部卒業。聖路加国際病院にて産婦人科研修後、2004年、名古屋大学大学院医学系研究科博士課程修了（医学博士）。2004～2005年にかけてドイツ・英国に臨床留学。2010年ハーバード公衆衛生大学院修了（MPH）。2010年より同大学院リサーチフェロー。2011年東日本大震災では被災妊産婦支援に取り組む。国立保健医療科学院、神奈川県を経て、2019年より現職にて人材育成、政策研究、診療に携わる。

専門領域：公衆衛生学、周産期疫学、災害時母子保健、健康危機管理、ヘルスコミュニケーション



梅原 舞

名古屋医療センター小児科

2020年、信州大学医学部医学科卒業。JA 愛知厚生連江南厚生病院にて初期研修。同病院こども医療センターにて小児科研修修了。名古屋大学小児科医局に入局。

専門領域：小児科一般

木村 重美

熊本託麻台小児リハビリテーション・発達医療センター神経小児科

1988年、熊本大学医学部卒業後、発達小児科入局。1997年、米国ピッツバーグ子ども病院研究員。2006年、熊本大学医学部小児発達学准教授。2016年、熊本市子ども発達支援センター所長。2023年より現職。

専門領域：小児神経学、筋疾患